

親睦・イベント委員会

平成21年度活動報告

- ◆第6回親睦ゴルフコンペ／
5月20日(水)富士OMG 14名参加
- ◆第7回親睦ゴルフコンペ／
10月24日(土) 武庫の台GC 17名参加
- ◆納涼会／8月7日(金)
コンチェルト船上 59名参加
- ◆大飯発電所他 見学会／4月23日(木)
関電 大飯発電所他 20名参加
- ◆秋の収穫体験とバーベキュー大会／
10月27日(火)神付 ふるさと村25名参加
- ◆プロムナードコンサート／

- 9月12日(土) 三井住友銀行前
- ◆元町ミュージックウィーク／
10月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)
三井住友銀行前他
- ◆忘年会／12月11日(金)
ザ・チャータードスクエア 82名参加
- ◆親睦ボーリング大会／3月15日(月)
ラウンドワン 53名参加



秋の収穫祭



納涼会

環境委員会

平成21年度活動報告

- (1)緑化活動
 - ◆プランターの飾花／大55基、小5基
 - ◆旧居留地内樹木28本に樹名札を設置。樹名札を活用した「グリーンラリー」を実施
- (2)クリーン作戦(兼ポイ捨て防止運動)
 - ◆初夏クリーン作戦／7月10日(金)
約150名の参加
 - ◆初秋クリーン作戦／9月4日(金)
約150名の参加
 - ◆冬季クリーン作戦／11月6日(金)
約150名の参加
 - ◆春季クリーン作戦／3月12日(金)
※今年度から従来のペットボトル、軍手に加え、花・サボテンの鉢植

- をお土産にしている。
- (3)アイドリングストップ運動 年2回実施
6月10日(水)、12月10日(木)
大丸駐車場近辺で花の種、ちらし、ティッシュペーパーを配布。
- (4)放置自転車・バイク実態調査 実施
7月9日(木)に。神戸市の要請で「神戸まつり」に合わせて実施。
自転車469台、バイク165台 計634台。



グリーンラリー



冬季クリーン作戦

平成22年度活動計画

- ◆第8回親睦ゴルフコンペ／5月 富士OMG
- ◆第9回親睦ゴルフコンペ／10月 武庫の台GC
- ◆納涼会／8月
- ◆親睦行事／6月、10月
- ◆プロムナードコンサート／10月
三井住友銀行前
- ◆元町ミュージックウィーク／10月(土)(日)×2 三井住友銀行前他
- ◆忘年会／12月
- ◆親睦ボーリング大会／
3月 ラウンドワン

平成22年度活動計画

- (1)緑化活動
 - ◆プランターに関しては現状維持
- (2)クリーン作戦(兼ポイ捨て防止運動)
 - ◆年4回実施
 - ◆初夏クリーン作戦／5月20日(木)
 - ◆初秋クリーン作戦／9月16日(木)
 - ◆冬季クリーン作戦／11月18日(木)
 - ◆春季クリーン作戦／3月17日(木)
(引き続き鉢植等のお土産を予定)
- (3)アイドリングストップ運動
 - ◆年2回実施 6月17日(木)、12月16日(木)
- (4)放置自転車・バイク実態調査
 - ◆年1回実施 5月19日(水)
＜クリーン作戦前日＞

高齢者を狙ったオレオレ詐欺が発生

電話で警察官や銀行員を名乗り訪問してくる新しい手口のオレオレ詐欺が発生しています。知らない人にお金やキャッシュカードは渡さず、「おかしいな?」と思ったら、110番しましょう。＜生田警察生活安全係＞

開港5都市イベント

- ◆と き / 2010年10月29日(金)・30日(土)・31日(日)の3日間
- ◆ところ / ポートアイランドを中心に、神戸市内一円
- ◆内 容 / 開港都市(函館、新潟、横浜、神戸、長崎)で景観まちづくりに取り組む市民団体が集い、情報交換や親交を深めるとともに、これからのまちづくりについて考える。



＜開催日時＞12月2日(木)～13日(月)

- ◆月曜日～木曜日 18:00頃～21:30
- ◆金曜日 18:00頃～22:00
- ◆土曜日 17:30頃～22:00
- ◆日曜日 17:30頃～21:30

2010年の旧居留地及び周辺のイベント情報

- ◆7月17日(土)～8月31日(火)
神戸ブラージュ 2010
神戸港新港第1突堤
- ◆7月21日(水)～8月8日(日)
企画展「沙羅の灯り」神戸らんぶミュージアム
- ◆7月24日(土)
まちのアートステージ
「旧居留地フルーツの調べ」
大丸神戸店 トアロード玄関前

- ◆8月7日(土)
第40回みなとこうべ海上花火大会
メリケンパークほか(観覧場所)、メリケンパーク南沖海上
- ◆8月14日(土)～9月26日(日)
特別展 ポストン美術館 浮世絵名品展
神戸市立博物館
- ◆9月1日(水)～13日(月)
京都 細見美術館 琳派・若冲と雅の世界
大丸ミュージアム KOBE

第16回 神戸ルミナリエ

今年で16回目となる「神戸ルミナリエ」は、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂の意を込めると共に、都市の復興・再生への夢と希望を託し、大震災の起こった1995年12月に初めて開催され、震災で打ちひしがれた神戸の街と市民に大きな感動と勇気、希望を与えます。

旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町 30 大丸カーポート 7 階
Tel.078-332-0151 Fax.078-332-0052



居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

大河ドラマで注目を集める 旧居留地界隈 龍馬を訪ねて歩いてみよう



神戸海軍操練所跡の碑

日曜日夜のNHK大河ドラマ「龍馬伝」によって、そのゆかりの地が注目を集めています。「ゆかりの地ツアー」や「龍馬の足跡を巡る」などの旅行企画も人気を呼んでいるようです。高知県立坂本龍馬記念館はゴールデンウィークに例年の3倍もの入館者でにぎわいました。関連の展示会も各地で開かれています。背景には、近年の歴史ブームもあるのでしょうか。わたしたちの旧神戸外国人居留地にも龍馬の足跡をたどって、週末や休日などに訪れる人が少なくありません。神戸を起点に繰り広げられた日本近代化へ的一幕を、駆け足でたどってみましょう。

旧居留地のメインストリート京町筋を南に下り、阪神高速道路の高架をくぐると、京橋の北詰に特徴のある石碑が建っています。重さ10トンの船の錨と本を組み合わせた碑中央部の標柱に、「史蹟旧海軍操練所跡」とあります。坂本龍馬たちが洋式海軍の建設を目指して訓練に励んだところです。

ロンドンで発行されていた週刊新聞イラストライティド・ロンドンニュースに掲載された神戸開港時の紙面(神戸市立博物館所蔵)をご覧ください。当時の神戸港の様子が詳細な銅版画で描かれています。龍馬の時代から

少し後の1868年(明治元年)ですが、画面下中央のやや左寄りが白く正方形で描かれています。外国人居留地です。まだ造成中だったために、こんな描き方になったのでしょうか。その東南角が海軍操練所があった場所になります。

海軍兵学校と機関学校を兼ねたような施設を建設したのが勝海舟です。1864年(元治元年)のことで、当時、海舟は幕府の軍艦奉行並(のち海軍奉行に昇格)の要職にありました。代表作の一つ「竜馬がゆく」で司馬遼太郎は、そのころの神戸を次のように描いています。〈神戸という地名は、慶応三年十二月七日の開港まで、ほとんど知られていなかった。わずかに、平家物語などに出てい

る、「生田の森」の付近といえば、そうかと想像のつく程度

の海辺で、普通は、その西方の宿場の兵庫をもって代表される村名であった〉

この神戸に目をつけた勝は、攘夷実行を迫る朝廷に向くために上洛した将軍徳川家

茂に随行し、京都への入り口にあたる摂海(大阪湾)を幕府軍艦「順動丸」で巡視します。この時、海舟は年来の構想だった海軍操練所の必要を説き、神戸が適地であると進言します。1863年(文久3年)4月のことです。将軍の許可を得た海舟は、すぐさま建設にかかります。海軍操練所絵図写(市立博物館所蔵)で、施設概要を知ることができます。総坪数は10万7137坪(約5.7ha)。中央の艦船繋留場は東西約40間(約72.7m)南北80間(約145.5m)に及びます。石碑の位置から東へ長く広がっていました。操練所の鬼瓦(博物館所蔵)が残っています。鬼瓦に徳川将軍家の三葉葵の紋があるのは、幕府直営施設を示しています。海舟が操練所建設地に神戸を選んだ大きな理由の一つが、地元・二ツ茶屋村の呉服商網屋吉兵衛が私財を投じて築造した船たて場が利用できると考えたからです。船たて場とは、虫害や腐食を防ぐため、船底を焼く施設で、乾ドックのことです。



神戸開港を伝えるイラストレイテッド・ロンドンニュース（神戸市立博物館所蔵）

新港第一突堤の付け根あたりに、吉兵衛の顕彰碑が建っています。海舟や龍馬ほど知名度は高くありませんが、神戸港の基礎を築いた人物として、もっと高く評価されていいと思います。

龍馬が歴史の表舞台に登場するのは、この時期あたりからです。海舟に面会し、単純な攘夷論を排し、本格海軍を建設して西洋列強に対抗しようという海舟の壮大な構想に共鳴し、その場で弟子入りしたといわれています。海舟が將軍に操練所建設を言した前年、文久2年のことです。龍馬が国もとの姉乙女にあてた有名な「エヘンの手紙」に、龍馬の心境がよく表れています。

〈天下無二の大軍学者勝麟太郎という大先生の門人になり…ことのほか可愛がられて候て、まず客分のような者になり申候。…兵庫と申す所にて大きに海軍を教え候所をこしらえ…〉と自慢げにつづり、〈エヘンエヘン、かしこ〉と結んでいます。

操練所建設に先立ち、海舟は旧生田川右岸に書生寮を開きます。操練所が幕府直営であるのに対し、こちらは海舟の私塾の形を取っています。西日本各地の諸藩から塾生を募集しました。その数約200人。

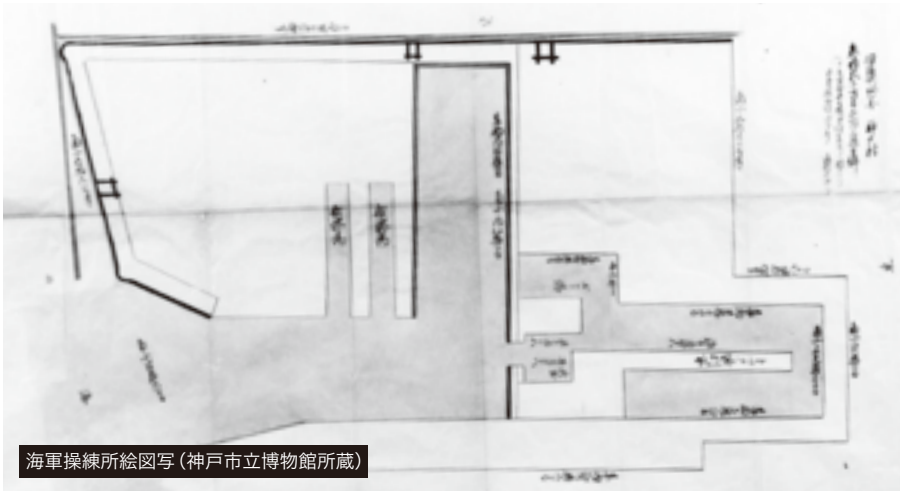
明治後に海舟の回顧談を速記した「氷川清話」は、その模様的一端を記録しています。〈塾生の中には、諸藩の浪人が多くて、薩摩のあばれものもたくさんいたが、坂本龍馬がその塾頭であった〉

あばれ者の中には、後年の外務大臣陸奥宗光、日清戦争時の連合艦隊司令長官伊東祐亨などもいました。

龍馬記念館のホームページには、龍馬は身長約173cm、体重80kgとあります。京都国立博物館所蔵の紋服からの推定だそうです。今の時代なら驚きませんが、平均身長150cm台のころですから、頭一つ抜け出るとい感じでしょうか。当時29歳の大柄な男が、血気盛んな若者を引き連れて、わいわいがやがやと、塾から操練所まで往来する光景が目につかびそうです。

操練所、塾で、かれらは航海関係のほか、武芸、手跡、漢学を修学したそうです。大河ドラマにも出てきますが、英語に取り組む者もいたようです。もっとも龍馬は「こんな符丁は覚えられん」とすぐに投げ出したと「龍馬がゆく」も触れています。

龍馬は平野の祇園神社に近い海舟の寓居をしばしば訪れたといわれています。この屋敷は地元の豪商、大庄屋生島四郎太夫の別邸でした。海舟の神戸での活動にさまざまな形で協力し後援した人物です。寓居は昭和13年の阪神大風水害で流されまし



海軍操練所絵図写（神戸市立博物館所蔵）

たが、門は現存しています。こうして順調に滑り出したかに見えた操練所でしたが、幕末動乱の渦に巻き込まれます。元治元年夏の禁門の変から三カ月後に、海舟が江戸へ召喚され、海軍奉行を罷免されます。塾生の中から政変に加わった者がいたことや、敗走した長州兵を操練所で、かくまっているなどの嫌疑を幕府にかけられたといわれています。指導者を失い、操練所、塾とも慶応元年（1865年）3月、閉鎖の憂き目を見ることになります。海舟の壮大な構想と龍馬たち若者のエネルギーを集めた本格海軍の夢はわずか1年足らずで途絶えてしまいます。海舟は神戸を去る際、建立を計画していた「海軍営之碑」を生島に託したといいます。神戸に近代海軍が誕生した経緯などを刻み込んだもので、大正時代になってから神戸市に寄贈され、諏訪山公園に建てられました。その複製と陸奥宗光の顕彰碑がみなんと公園にあります。陸奥は第4代兵庫県知事も務めました。

操練所閉鎖後、龍馬は薩摩藩の庇護を受け、鹿児島に行き、やがて長崎で政治結社であり貿易会社の亀山社中（のちの海援隊）を興し、再び、幕末史に登場します。28歳で土佐を脱藩し、33歳の生涯を閉じるまで、神戸時代を含む5年間の移動距離は2万1060km、地球半周以上に達します。動乱の時代をまさに駆け抜けるように生きたといえるでしょう。

近代神戸幕開けの歴史をたどりながら、ハイカラ神戸を代表する旧居留地を歩いていると、夏の風に乗って、何やらにぎやかに語り合うはるか昔の若者達の声が聞こえてくるような気がします。

旧居留地連絡協議会 平成22年度定時総会・懇親会・次第

4月20日(火)、17:00～19:45 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
4階 瑞天西の間において平成22年度定時総会が開催され、昨年度の活動報告及び今年度の事業計画・予算案などが承認されました。



防災・防犯委員会

平成21年度活動報告

- ◆**防災・防犯委員会**／毎月17日
居留地倶楽部にて開催
- ◆**防災福祉コミュニティ代表者会議 出席**
／4月12日(日) 中央消防署
- ◆**中央防災福祉フェア事前説明会 出席**
／5月18日(月) 中央消防署
- ◆**日本経済新聞 取材**／6月9日(火)
居留地倶楽部
- ◆**市民救命士講習会**／6月15日(月)
東京海上日動火災保険／受講者25名／指導・神戸市防災安全公社
- ◆**中央防災福祉フェア 参加**／6月28日(日)
神戸市立こうべ小学校／参加者7名
- ◆**市民救命士講習会**／8月10日(月)
東京海上日動火災保険／受講者25名／指導・神戸市防災安全公社
- ◆**日本経済研究所 地域継続計画策定のための調査協力**／8月19日(水)
- ◆**防災福祉コミュニティ代表者会議**／
9月10日(木) 中央消防署
- ◆**大阪府政策企画部危機管理室に
対する調査協力**／9月25日(金)
- ◆**旧居留地防災訓練**／10月6日(火)
東遊園地／参加者41名／指導・中央
消防署 中央消防団第六分団

- ◆**防犯講習会**／11月6日(金) 朝日ビル
13階 アッセンブリールーム／受講者32名
- ◆**平成21年度「中央防災の賞」
表彰式出席**／11月13日(金)
神戸東急イン3階 ボールルーム
- ◆**市民防災リーダー研修**／
11月15日(日) 中央消防署／参加者1名
- ◆**中央区総合防災訓練**／12月13日(日)
神戸海洋博物館1階ホール／参加者3名
- ◆**旧居留地地域防災計画 資料・
マニュアル編 発行**
- ◆**ひょうご安全の日のつどい1.17
メモリアルウォーク 参加**／
1月17日(日) 東遊園地よりHAT神戸
まで／参加者16名
- ◆**地域防災シンポジウム 出席**／
1月19日(火) 神戸国際会議場
- ◆**市民救命士講習会**／2月3日(水)
東京海上日動火災保険／受講者27名



中央防災福祉フェア 参加

広報委員会

平成21年度活動報告

- (1)**広報誌「居留地会議」No.30発行**
平成21年7月1日 2,000部発行
- (2)**旧居留地連絡協議会 Webサイト運用管理**
旧居留地内のサービス全店舗の情報
収集・修正・更新を実施。
 - ・活動カレンダー更新
 - ・フォトアルバム掲載(各活動の撮影)
 - ・「神戸旧居留地BLOG」をほぼ毎日更新。
 - ・各種問合せに対応
- (3)**神戸旧居留地散策ガイドマップの発行**
平成21年12月 10,000部発行、「旧居留地
でランチ」をテーマに、旧居留地

内のカフェ、レストラン、食事処など48
店舗のランチメニューや店の情報を網
羅したガイドマップを発行。

平成22年度活動計画

- (1)**広報誌「居留地会議」No.31発行**
平成22年7月1日 2,000部発行予定
- (2)**旧居留地連絡協議会Webサイトの
更なる活用促進** 協議会活動・委員会
活動をより充実させるため、会員間の
連絡掲示板的な役割でおおいに活用
していただけるようPRします。
- (3)**旧居留地マップ第2号発行のための
調査及び制作**

平成22年度活動計画

- ・旧居留地防災訓練 実施
- ・市民救命士講習会 実施
(2～3回を予定)
- ・中央区総合防災訓練 参加
- ・中央防災福祉フェア 参加
- ・市民防災リーダー研修 受講
- ・旧居留地地域防災計画
資料マニュアル編 改訂
- ・防災防犯委員会 定例会議(毎月17日)
- ・防犯講習会 実施
- ・1.17メモリアルウォーク 参加

【都心づくり委員会】

平成21年度活動報告

- (1)**地区内建設計画、店舗計画の聴取、助言**
 - ・興和ビル 駐車場広告物
 - ・朝日ビル 駐車場広告物
 - ・商工中金ビル 屋外看板
 - ・危機管理センター 新築計画
 - ・御幸ビル 窓面広告物
 - ・45 窓面広告物
 - ・ストロングビル 店舗広告物
 - ・アーバンテラス 店舗広告物
 - ・神戸旧居留地25番館 店舗広告物
- (2)**放置自転車対策**
 - ・現状調査 放置自転車・バイクの数、場所
 - ・京都研修 アーキエムズの取組みを見学
 - ・アンケート 収容能力
- (3)**明石町筋工事打ち合わせ**
 - ・平成22年8月 完成予定
- (4)**落書き対策**
- (5)**ユニバーサルデザイン都市づくりへの取組み**
 - ・神戸花鳥園見学研修

平成22年度活動計画

- (1)地区内建設計画等に対する聴取、助言
- (2)放置自転車対策の検討
- (3)ユニバーサルデザインの検討
- (4)広告物ガイドラインの見直し、再検討